

交替劇プロジェクト第6回研究大会

会期：2013年1月12日（土） - 14日（月）

会場：東京大学理学部2号館講堂

プログラム

1月12日（土）

受付開始10:15～

特別講演

10:45～12:00

酒井 邦嘉（東京大学・総合文化研究科・教授）

「人間の言語の特異性とは」

招待研究報告

13:00-13:30 高橋 伸幸（北海道大学）

13:30-14:00 水野 敬（理化学研究所）

「学習意欲と抗疲労に関する神経基盤研究」

14:00-14:30 川道 拓東（生理学研究所）

「社会学習を支える社会能力の神経基盤」

14:30-15:00 小林 靖（防衛医科大学校）

（休憩）

15:30-16:00 嶋田 誠（藤田保健衛生大学）

16:00-16:30 日暮 泰男（大阪大学）

「投槍器を用いた槍投げにおける上肢の動き－生体力学的知見から過去の人類における投槍器の習得について考える－」

16:30-17:00

高倉 淳（北海道大学）

「北海道白滝遺跡群の石器接合資料における技量差の判定と学習行動」

17:30-（予定）

懇親会（工学部2号館松本楼）

1月13日（日）

シンポジウム1「成長と学習スケジュール」

09:30-10:00 青木 健一（東京大学）

「何故、学習スケジュールに注目するのか」

10:00-10:30 山内 太郎（北海道大学）

「サピエンス、ネアンデルタールのライフステージと栄養生態」

10:30-11:00 西秋 良宏（東京大学）

「パプアニューギニア狩猟採集民にみる弓矢製作の学習スケジュール」

11:00-11:30 若野 友一郎（明治大学）

「最適生活史戦略としての個体学習と社会学習の使い分け」

11:30-12:00

総合討論：青木 健一（東京大学）

シンポジウム 2 「社会ネットワーク・交流」

13:00-13:25 寺嶋 秀明（神戸学院大学）

「狩猟採集社会と移動の意味」

13:25-13:50 青木 健一（東京大学）

「発達に伴う知己範囲拡大と文化進化加速の可能性」

13:50-14:15 佐野 勝宏（東北大学）

「旧人・新人の移動パターン」

14:15-14:40 高田 明（京都大学）

「狩猟採集社会における知識の伝達と生成」

14:40-15:05 堀内 史郎（芝浦工業大学）

「資源分布と交流の起源」

15:05-15:30

総合討論：寺嶋 秀明（神戸学院大学）

シンポジウム 3 「ホモ・サピエンスの進化と拡散：アフリカを中心に」

15:45-16:15 近藤 修（東京大学）

「人類化石証拠を概観する」

16:15-16:45 Obochta Stephen（東京大学）

「最終間氷期から完新世にかけてのアフリカにおける気候変動」

16:45-17:15 門脇 誠司（名古屋大学）

「アフリカにおける初期ホモ・サピエンスの文化多様性と「交替劇」への新たな展望」

17:15-17:45 木村 亮介（琉球大学）

「ホモ・サピエンスの成り立ち—遺伝学からの考察」

17:45-18:15

総合討論：近藤 修（東京大学）

1月14日（月）

シンポジウム 4 「交替劇への認知考古学的アプローチ」

09:30-10:00 松本 直子（岡山大学）

「交替劇研究への認知考古学の貢献と論点」

10:00-10:25 田邊 宏樹（名古屋大学）

「知能のモジュール性と認知的流動性を脳機能イメージングから考える」

10:25-10:50 川畑 秀明（慶応大学）

「神経美学からみた芸術の起源」

10:50-11:15 中園 聡（鹿児島国際大学）

「『交替劇』後のホモ・サピエンスと土器」

11:15-12:00

総合討論：西秋 良宏（東京大学）

シンポジウム 5 「北極圏への進出をめぐって」

13:00-13:30 米田 穰（東京大学）

「北極圏進出年代に関する議論」

13:30-14:00 加藤 博文（北海道大学）

「OIS3 段階における北極圏への人類の進出」

14:00-14:30 山口 今日子・木村 亮介（琉球大学）

「北方への進出と遺伝的適応」

14:30-15:00 大村 敬一（大阪大学）

『戦略』と『戦術』：極北圏への適応に必要な認知技能」

15:00-15:30

総合討論：米田 穰（東京大学）